

平成 29 年 8 月 17 日

(臨床研究に関する公開情報)

国家公務員共済組合連合会横須賀共済病院では、より良い診断・治療を目標として、さまざまな臨床研究を行なっております。今回、下記の臨床研究を実施いたしますので、研究の計画及びその方法についてお知りになりたい場合、研究において検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合などがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、研究のために患者さまの負担や危険が増えることはございません。また、ご了解できなかった場合、患者さまにとって不利益になることは一切ございません。

[研究課題名] 超高密度マッピングシステムを用いた上大静脈隔離の検討

[研究責任者] 循環器内科 副部長 田中 泰章

[研究の概要] 心房細動のカテーテル治療で最も有効な方法は肺静脈隔離です。しかし、肺静脈以外からの起源も約 30%に認められることがわかっています。その非肺静脈起源のうち最も頻度が多い部位が上大静脈です。よって、上大静脈と右心房の電氣的結合を遮断することで心房細動の根治が可能です。しかし、この周辺には洞結節という正常な心拍の起源となっている部位がありこれらに焼灼が波及すると、洞不全症候群という極端な徐脈に陥り最悪の場合ペースメーカーの埋め込みが必要になる場合があります。しかし、この周辺の電氣的性質を把握することにより安全な上大静脈隔離が可能となることが予想されます。そこで今回私たちは心房細動アブレーションを行う患者様に超高密度マッピングという、心臓の電氣的性質を精密に把握可能なシステムを用いて電位情報を取得しより安全な治療が可能かを検討することといたしました。

[研究の方法]

● 対象となる患者さま

本研究の承認から 2018 年 3 月 31 日までに当院において心房細動のカテーテルアブレーションを行なう患者さま

● 利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：年齢、性別、既往歴、心臓超音波検査結果、採血検査結果、カテーテルアブレーション中に得られた心臓電気生理検査所見、治療後の外来

にて施行された心電図検査結果などを収集し、解析させていただきます。

[個人情報の取扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さまを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院 循環器センター

電話 046-822-2710 (代表)、 FAX 046-822-9139

*お問い合わせ内容により、こちらから改めてご連絡をさせて頂くことをご了承ください